

消防 ネットin川口

平成30年7月30日

第57号

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 吉田 幸市

発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

支団紹介

6支団の紹介です

第6支団 支団長 鈴木 国雄

第6支団は川口市の南東部に位置する新郷地区を担当しています。

10町会からなる新郷地区を総勢42名の団員で日々『安心 安全』をモットーにどこにも負けないチームワークで活動しています。

今年度8月4日に第30回埼玉県消防操法大会に第7支団と共に出場する事になりました。

第6支団では昨年9月より訓練を始め【優勝】を目標に今では週に2回の訓練を選手・団員一丸となって訓練に励んでいます。

ケガの無いように最後まで全員で頑張っていきたいと思っています。



第6支団 第1分団 分団長 飯塚 秀行

第6支団 第1分団は、新郷地区の南 江戸袋・赤井・本蓮・本郷台・前野宿を担当しています。

団員数は23名 内20代の若者は3名と少なく、団員の高齢化がすすんでいるのではと心配になります。今、現在の活動は8月4日に行われる埼玉県消防操法大会に向けて、週2回程度の訓練を行っています。選手は勿論のこと、第1分団、第2分団力を合わせて日々頑張っています。



この事によって第6支団全体の団結力が強くなったと思います。

30数年に1度しか経験出来ない事に関われたことは、幸いな事と感謝しています。最後に選手には、怪我無く訓練の成果を思う存分発揮していただきたいと思っています。

第6支団 第2分団は、19名のうち女性団員が2名おります。

新井分団長をはじめ年齢もかなり幅がありますが、居心地の良い支団です。

団会議の後は、ほぼほぼ会食をとりながら和気あいあいと異業種交流会の場となる事もしばしばです。

団活動以外でもたくさんのことで支団の方々が支えて下さり、だからこんな私でも16年続けてこられたのだといまでは思います。

最初は強面、ぶっきら棒と、感じた団員の

方が多かったのも事実ですが(笑)今では皆さんに支えられここまでこれたのだと心より感謝しております。これからも続けていける限り頑張っていきたいと思ひます。



支団車庫紹介 どんない設備や装備があるのかな? 第4支団第1分団 団員 田村 真一

今回は4支団の「車庫で珍しいものを」ということで、自慢の逸品をご紹介します。

まず はじめに自慢したいものは、消防車の後ろに隠すように(笑)置かれている『ベンチプレス』です。消防団員は身体が資本!ということで、ムキムキマッチョ?!を目指し日々筋トレをしています。重りも各重量そろっていて、各々体力に合わせてトレーニングをすることができます。近所では、ダン(団)ザップなんて呼ばれています。団員さんなら、どなたでも歓迎しますよ!会費無料ですが鬼の指導員がお待ちしています。

そして、消防車の横には冷蔵庫を完備しており、火災出場時には、キンキンに冷えたドリンクを積載します。特に夏場の火災では、防火衣を着て放水していると滝のように汗が出ます。熱中症対策を目的として積載するようにしています。これも重要な現場の安全管理の一環ですね。

1分団車庫には、なんと通信司令室があります。団用のデジタル無線機のほかに、直流安定化電源装置、アナログ無線機設備が充実しており、実災害ではあらゆる周波数帯を駆使して通信をすることが可能です。大震災では、自衛隊、警察、消防がアナログの共通波を利用し活動することが想定されています。消防団にも共通無線機があるのですから、災害時といわず常日頃から通信し、慣れておくべきでしょう。他の支団はわかりませんが、4支団は無線機運用については上達していると自負しています。

先日も分団を超えて、分署を巻き込んでの訓練をしました。新芝川に消防車を3台並べて中継送水訓練をしましたが、ここでも無線機の重要性を再認識した次第です。

通信室のはす向かいには、6年前に県の操法大会に出場したときの写真が飾られています。今年は6支団、7支団が参加されるということで特筆します。まもなく大会本番ということで、仕上げの追い



込みをされていると思います。私たちはこのイベントを通じて支団が1つにまとまりました。皆さんもぜひ、心をひとつに、ご尽力ください。応援していますよ！

実災害になると、電力の重要性を改めて認識させられます。なんと3分団車庫には大型発電機が3台もあり、何十世帯も賄えるんじゃないのかという発電力を持っています。おそらく4支団以外にこの装備はないでしょうね。装備はあるに越したことはありませんが、日ごろから使えるようにすることが重要だと思います。

第4支団第2分団 部長 高橋利彰

私達、第4支団第2分団の車庫は川口市元郷に位置し、住宅街の中心にあります。

4支団の受持ち区域は南平地区ということもあり、四方を荒川、芝川、新芝川に囲まれているような地域特性となります。

2分団の特筆すべき装備、設備としては、可搬ポンプを改造し小回りが少人数でも可能な台車に乗せて置いてあります。

可搬ポンプは車両の入れ替えの時に、使える物は外して使っても良いとの了解をいただいて前車両から外した物です。

分団長が自動車整備業を営んでおられるので、忙しい合間を縫って製作していただきました。

ブレーキやストッパーも付いているので、安全面も問題ありません！

前記したとおりに河川が多いことから、小型の可搬ポンプならポンプ車が進入できない河川等の自然水利にでも近づけ、「水の確保」ができます。



ブレーキ、ストッパー付!!

実際に震災訓練の時は近隣の建物が倒壊して車両が使えない事を想定して、近くの芝川まで人力で移動して使用する訓練を行うと同時に、どの場所から吸水が可能か等の確認もしています。

災害は無いに越したことはありませんが、万が一に備え『南平地区、川口市を自分達で守る!!』を念頭において、団員一丸となって活動しています。



第4支団第3分団 分団長 吉原 一夫



東領家3-1-3、小学校に隣接し緑いっぱいの公園・住宅に囲まれ、道路の角地に面している2階建ての建物が3分団の車庫です。1階は車両及び資材置き場、2階は会議等できるように造られています。立地条件が良いので4支団の定例会議も3分団の車庫で行っています。団員15名で芝川と荒川に挟まれた街、領家地区を守っています。

『自作フローティングストレーナー』を試してみてください

第4支団第3分団 分団長 吉原 一夫

4支団では、今年3月11日(日)に南平分署の協力を得ながら、芝川の水を利用して遠距離自然水利消火訓練を9時から11時頃まで実施いたしました。車両の吸管を直に川へ投入するとヘドロを吸い上げ車両のポンプを破損する恐れがあるため、フローティングストレーナーを装着して吸水するとポンプを破損することなく長時間使用可能となります。今回の訓練実施にあたり、自家製でポリタンクとウエイト（鉄筋丸棒を加工）を利用して使用してみたところ、充分対応出来ることが分かりました。いざという時に役立つと思います。

ポリタンクの浮力は20kg程度であることから、錘は同程度の重量が必要となる。



ポンプ操法県大会練習

第7支団第3分団 団員 長瀬 祐一

第7支団は8月4日のポンプ操法県大会に向けて、水曜日と土曜日の週2回 19:30～グリーンセンター駐車場にて練習を行っています。

雨の日も、暑い日も選手のみなさん仕事の後、辛い中練習に励んでいます。

雨がひどい時は練習が中止になるのではなく、一日でも無駄にしないよう消防局体育館でも練習を行いました。

神根分署の方々、分署長の指導のもと大会に向けて、短い時間集中をして、全ての動作が揃うようにはもちろん、的確かつ迅速にタイム減を目標に、整列、車両乗車からポンプ操法までの細かい作業を、何回も何回も繰り返し行っています。

神根分署、分署長は、ひとつひとつ細かいところま



で、さらに一人ひとり指導頂けるので、選手の努力のもと日に日に細かいところまで揃うようになり、タイムアップに繋がっています。

選手の並々ならぬ努力はもちろん、選手以外の支団長、分団長、各団員が、選手が効率よく練習が出来るように何回も何回もホース巻きなどの補助作業を行っています。

7支団全員が一致団結して、ポンプ操法県大会当日には、練習成果が出せ、より良い結果を残せるよう、日々訓練に励んでいます。

応急手当普及員再講習

第2支団 第1分団 団員 田中 亘



5月19日、応急手当普及員再講習会に参加させていただきました。

三年間普及活動に参加も出来ず、どんな事をするのかもほぼ忘れていました。

午後の時間だけの短い時間だけでしたが自分がやるべき事をしっかりと再確認出来てとても有意義な講習会でした。余談ですが先日交通事故現場に遭遇し負傷者を救急隊に引き渡すという事がありました。同僚の看護師さんと同行していたため医療行為はしていませんが、状況確認や負傷者の安全の確保、

などまずやらなければならない順序、行為など知識として知っているだけでも実際の行動に移れるということで、指導員、普及員の重要性を改めて実感しました。3年後の期限が来るまでに今度は応急手当指導員・・・なれるように頑張ります！

普通救命講習と機関員技能講習

第8支団 第1分団 団員 白鳥 真

5月19日（土）消防局において普通救命講習と機関員技能講習がそれぞれ実施されました。救命講習では主に「心停止」を想定したAEDの講習と実技が行われました。機関員講習では3名の消防局職員さんの指導の下、座学と消防団車両についての講習と実技を行いました。まず、緊急自動車の交通方法（法の規定）についての座学では職員の方のユーモアたっぷりのお話をお聞きすることができました。次に、消防団車両による消火栓と防火水槽を使用した放水訓練を行い、車両の説明、操作方法を皆さん熱心に聞かれています。

講習に参加することで、改めて訓練の重要性を感じることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。救命講習と機関員技能講習は毎年実施されていますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。



荒川左岸水防演習

第2支団第2分団 副分団長 大川 晃司

去る6/23三領グラウンドにおいて荒川左岸水害予防組合の水防演習が行われました。

水防団指定を受けている2支団車両による監視警戒から訓練はスタート、その後積み土嚢工法以下8つの工法が同時進行。

当日は天候に恵まれ涼しさを感じるほどでしたが、いざ訓練が始まり土嚢積みも終盤に差し掛かると額からは滝のような汗、県の防災航空隊による情報収集訓練から戻った市長巡閲、そして水難救助訓練にて終了となりました。

水害は予測可能な災害で、被害が発生するか否かの見極めが大事なのだと感じる。第二支団では水害が予想される場合には支・分団長は分署待機、そして被害発生予測にて速やかな初動体制を整え、まずは住民の安全確保と避難誘導が先決と心得る。願わくば先年の鬼怒川決壊のような事態は避けたいものである。



支団親睦旅行

第1支団第1分団 班長 井口 直也

第一支団では、恒例の親睦旅行を6/2・3の1泊2日で実施しました。今回は総勢25名で長崎方面に行って来ました。メインは世界文化遺産に登録された軍艦島の見学です。

思ったより自然崩壊が進んでおり驚きましたが、貴重なものを見ることが出来ました。

長崎では卓袱料理の夕食。そのあとは稲佐山に登り世界3大夜景を堪能してきました。



新入団員紹介

新入団員の皆様を順次紹介しています

第2支団 第1分団 団員 久保田 慎吾 (くぼた しんご)

川口市にきてまだ1年未満の私が今回縁がありまして、4月から消防団に入団することになりました。前は上尾近辺に住んでいて、仕事の関係で川口市に引っ越してきました。ちなみに地元は長野なので、埼玉自体あまり詳しくないので不安なことばかりです。

3月末には消防の服を一式支給されました。服を支給されることで団員としての自覚も少しずつですが、目覚めてきました。

今回初めて消防団に入団したので、まだ詳細な活動は理解していませんが、地域社会に貢献できる立派な活動だと思っています。まだ色々と分からないことも多々ありますが、いち早く活動内容を理解し、地域の人々から受け入れられる団員になりたいです。



第2支団 第1分団 団員 村田 勇斗 (むらた ゆうと)



平成二年生まれの27歳です。生まれた時から現在に至るまで、ここ西川口に住んでいて、実家は和・洋菓子などを作っている菓子屋を営んでおります。

大学卒業と共に家業を継いで、弟と日々美味しいお菓子作りを勉強しています。また、6歳の頃から大学まで野球をやっており、体を動かすことが大好きです。

今日ここまでやってこられたのも、両親はもちろん、地域の皆様に支えられてやってくることが出来たと思っていますので、今度は私が地域の皆様の為に恩返しが出来るといふように消防団への入団を決意致しました。

右も左も分かりませんが、一から勉強させて頂き、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

第2支団 第2分団 団員 矢島 剛 (やじま つよし)

この度、第2支団第2分団に加入致しました、矢島剛(やじまつよし)と申します。住まいは中青木4丁目になります。川口駅の西口の地場不動産業者有限会社矢島にて2月から働いており、父親である社長の勧めで加入させて頂くことになりました。

右も左も分からないような未熟者ですので、しばらくご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、極力早く戦力の一員として認めてもらえるように精進して参ります。微力ながら地域の貢献できるよう、以降取り組んで参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。





第2支団 第2分団 団員 今泉 尚之 (いまいずみ なおゆき)

川口に住み 10 年ほどになります。9.11 テロや 3.11 震災からも地域の結び付きの重要性を感じていました。町内活動にも参加させていただいていますが、予測される震災にも備え、他に地域に貢献できることはないかと考え、消防団へ志願させていただきました。普段は育児を楽しむサラリーマンです。微力ながら消防団員として貢献できればと存じてます。宜しくお願いいたします。

・第2支団 第2分団 団員 鈴木 明広 (すずき あきひろ)

鈴木明広です。静岡生まれの埼玉育ちで今年、43 才になります。飯塚 2 丁目の町会行事等が好きで、飯塚 2 丁目に引っ越しをしました。趣味はサッカー観戦で、浦和レッズの年間チケットを 15 年ほど保有しています。休日は埼スタに行ったり、時間が合えば地方へ観戦に行っています。人見知りをするので、初対面の方々と打ち解けるのに時間が掛かります。年度が変わり、仕事が忙しくなり、会社での立場上、土曜日は仕事でなかなか参加する事が難しいとは思いますが、出来る範囲で携われればと思います。よろしくお願ひします！



.....

【編集後記】

第10支団第2分団 団員 渡邊 翔太

今回の団ネットはいかがでしたでしょうか？
今回は水防訓練、機関員技能講習など多くの講習や訓練があり、ボリュームのある団ネットとなりました。
まだまだ不慣れなところもありますが、周りの皆様にご協力をいただきながら、
広報委員の活動に努めていきたいと思ひます。
記事の作成や写真の提供、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。
今後も団ネット作成にご協力を宜しくお願ひ致します。



次号は 9 月 ごろ 発刊 予定 です